

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを とともに生きよう感謝の心で



学校だより

11月号

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



横浜市立谷本小学校
令和4年10月31日

笑顔のバトンパス

副校長 佐藤 万里子

校舎の周りに何本もあるイチョウの木がたくさんの実をつけています。葉はまだ緑色で、その中にオレンジ色の少し重そうな実が今にも落ちそうなほどついている様子は、毎朝の見回りの際に立ち止まって見てしまうほどです。

10月22日(土)、保護者の皆様の温かい応援に包まれて、運動会を開催することができました。今年度は少しでも多くの方の参観が可能となるように、プログラム等を工夫しました。保護者の皆様のご理解とご協力に、深く感謝申し上げます。

各クラスから出た意見をもとにして決まった今年度のスローガンは、「やもリンピック～みんなでつなげよう笑顔のバトン～」。運動会は勝敗を付けることが多いですが、赤組・白組の区別なく皆が全力を出し合う運動会にしたいとの思いで、運動会実行委員の子どもたちはこのスローガンに決めたそうです。

昨年度同様廊下には、一人ひとりのめあてが掲示されています。その中には、自分が考える「笑顔のバトン」のつなぎ方もありました。

自分が笑顔できょうぎをやれば、みんなが笑顔でおうえんできると思うし、
その次の学年の人がそれを見て、その人も笑顔でできる…。 (3年生)

令和の新しい形の運動会は、一人ひとりの頑張りにより幕を閉じました。6年生が持っていたバトンは、しっかりと5年生へと受け渡されました。

さて、小学校での最後の運動会となった6年生は、「輝け！ソーラン魂2022」で、黄緑×黒と黒×赤の2種類のはっぴを着用して演じました。半数の子どもたちが身に付けた黒×赤のはっぴは、谷本中学校からお借りしたものです。この紙面をお借りして、改めてお礼を申し上げます。

また、10月20日(木)には、その前日に行われた合唱コンクールで優秀な成績を修めた緑が丘中学校3年1組の皆さんが来校し、6年生に向けてその歌声を披露してくれました。変声期を終えた男子の迫力のある声や強弱を意識した歌い方、息継ぎの音まで聞こえてくるほどの指揮に合わせた歌声を聴くことができました。短い時間ではありましたが、聴き終わった後は心地よい余韻に包まれました。11月26日(土)には、谷本中学校吹奏楽部の皆さんが、演奏を聴かせてくれます。コロナ禍で止まっていた中学校との交流も少しずつ動き始めています。